

拡大

広報

令和5年新年号



みやぎ - 77号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
〒989-2202
宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

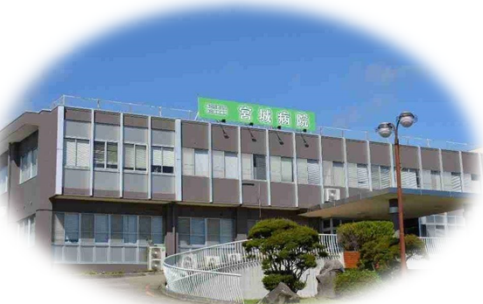
令和5年年頭に当たって

明けましておめでとうございます。卯年の年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。

昨年（2021年）2月の福島県沖地震で建物被害を受けたのでその復旧に努めていると書きましたが、ご存じのように2022年3月再び震度6弱の地震に見舞われ、当院はさらに大きな被害を受けてしまいました。その詳細は宮城県医師会報7月号に書きましたが、外来管理治療棟についてはさらに大規模な補強工事が必要になり、そのほか病棟部門や中央廊下にも補修工事を行わなければならない、昨年は工事に始まり工事に暮れた1年になりました。現在では復旧工事もようやく完成間近で、1月中にはほぼすべての工事を終えて2月初めには新しい救急外来をオープンできるものと考えています。診療活動を継続しながらの補修工事だったために、救急診療や外来診療にも少なからず影響があり、患者さんには大変なご不便をおかけしました。

当院の地震被害の復旧工事の様相については県内TVや新聞等で何度も取り上げられ、地域の関係者の方々からはさまざまな励ましをいただきました。この地で長年にわたって地域医療を提供し続けてきた当院に対する地域の方々の信頼や期待を強く感じ、エールを送られた気持ちで胸が熱くなる思いでした。

1年置いて発生した2度の大地震にみられるように、宮城県では東日本大震災以降、地震の頻度が増しており、全国的にも南海トラフ地震や日本海溝・千島海溝地震の可能性が広く喧伝されています。地震の予知は不可能でも、被害を少しでも減らすには日頃の備えをしっかりと行って災害へのレジリエンスを高めることが重要です。ちょうど100年前に起こった関東大震災では多くの建物が倒壊し、大火災も発生して多くの人命が失われました。人々はパニック状態のなか流言飛語に惑わされ、さまざまな悲劇が発生しました。寺田寅彦は関東大震災の被害を目の当たりにして、「地震の現象」は防げないが、「地震の災害」は、建物や設備への対策と、地震についての教育によって軽減することができる、と書いています。防災教育がレジリエンスを向上させるということでしょう。今回の補修工事を経て当院の耐震強度は大幅にアップし、患者さんと職員にとってより安全な病院になりました。さらに物と心の両面で備えを進め、地域のよりどころとなる病院を作っていきたいと思っておりますので、今年も変わらぬご支援のほどお願いいたします。



院長 永野 功

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター
「みやべリー」

宮城病院
Instagram



※読み取ってください

クリスマスイルミネーション

当院恒例のクリスマスイルミネーション！！今年も12月8日～12月28日の日程で開催されました。職員がすべてデザイン・飾り付けを行っていて、まさしく「手作り」のイルミネーションです。

点灯式当日は寒い中、点灯式に集まった職員が「10・9・8・・・1」とカウントダウン、院長先生がスイッチオン！「わあ～♪」の歓声とともにきらびやかに、イルミネーションが浮かび上がりました。まだ、昨年・一昨年の地震の復旧工事中ですが、病院正面玄関前の前庭が一気に華やぎました。今年はさらに、クリスマスツリー3つ等も新たに加え、より一層輝きを増し、地元の風物詩ともなっている行事として定着してきたようです。

(庶務係長 小原 有里)



令和4年度 叙勲受章



令和4年秋の叙勲で、木村格元院長が瑞宝中綬章を受章されました。

同氏は、長きに亘り、国立医療機関の発展に一途に尽くした幾多の功績、併せて地域医療に貢献された功績が高く評価されたもので、誠に喜ばしく心からお喜び申し上げます。

本来であれば、所管大臣より伝達されるどころ、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、令和4年12月9日（金）に当院会議室で伝達式が執り行われました。

(庶務班長 小端 直)



地域医療連携室から ～退院支援について～

こんにちは。地域医療連携室、看護師の作間と申します。2023年もよろしくお願いたします。

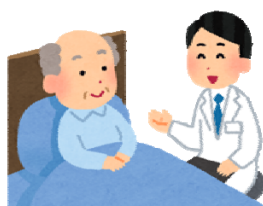
今回は「退院支援について」お話しします。

退院支援とは、患者や家族の意向を尊重したうえで、生活ニーズや課題に応じて入院医療から生活の場へ戻るための移行支援のことです。

当院では、入院時より患者、家族の意向を確認しながら病院内外の多職種と連携を図り、必要な医療・看護・介護を継続しながら、どこでどのような療養生活を送るかを自ら選択し、決定できるよう支援させていただいています。

入院時から多職種で連携することにより、医療や介護福祉に関わる様々な専門職が専門性を活かし、チームとして患者の生活の質を維持しながら、次の療養生活へとつないでいくことが出来ます。

入院となると、「入院前にできていたことが同じようにできるかな?」「今後も自宅で生活できるのかな?」・・・患者、家族にとって様々な不安があると思います。悩みや心配事などは遠慮なく当院のスタッフへお話しください。利用できる社会資源の相談や多職種と連携を図り、安心して次の療養生活の場へ移行できるよう橋渡しをさせていただきたいと思ひます。



(看護師 作間 智美)

部門紹介 ～中央病棟 1階～

新年あけましておめでとうございます。

今回は、中央病棟1階の新人さんをご紹介します。

昨年4月に新社会人として就職し、早いもので9か月が経ちました。大小さまざまな試練を乗り越えながら、すくすく成長し、新しい春を迎えようとしています。

中央病棟1階(重症心身障がい児(者))病棟では、言葉に出来ない患者様に寄り添う優しい看護師を目指しています。

(①氏名 ②出身地 ③趣味 ④特技 ⑤ひとこと)

(看護師長 掛水智子)

- ①市川 湧斗
(いちかわ ゆうと)
- ②宮城県 亘理町
- ③映画鑑賞
- ④サッカー オセロ
- ⑤笑顔と感謝を大切にしています!!



- ①五十嵐 楓花
(いがらし ふうか)
- ②岩手県 宮古市
- ③映画鑑賞 マンガを読むこと
- ④イントロクイズ
- ⑤患者さんの笑顔がみられて毎日楽しいです!

- ①梁川 梨花
(やながわ りんか)
- ②宮城県 古川市
- ③ショッピング
ドライブ
- ④絵を書くこと
- ⑤患者さんとの関わりを大切にしながらがんばります!!!



福島県沖地震の復旧状況について

福島県沖地震の災害復旧工事は、昨年12月中の完成を目指し工事を行ってきましたが、中央廊下の耐震補強と内部補修の仕上げ工事などが1月中の完成予定となりました。

昨年後半は工期の遅れを取り戻すため、内部復旧工事は外来診療を止めることなく日中工事と夜間工事を行いました。響き渡る騒音や各所で通行制限が続きましたが、当院をご利用する患者さまや関係者、職員の方々にご協力をいただき、壁面の亀裂や損傷部分などはきれいに修繕することができました。

耐震補強対策として、外来管理治療棟エリアは柱の強化や鉄骨ブレスを数カ所設置しました。中央廊下や渡り廊下についても耐震補強を行いました。今まで約2年近く使用が出来なかった救急外来についても、2月より再開予定です。

災害復旧工事の一環として院内ローテーション工事を行い、外来診療エリアや薬剤部、臨床検査科が移転しました。事務室も昨年8月に移転しましたが、1月下旬に外来管理治療棟へ再移転しました。

この度、宮城病院を利用する皆様方に大変長くご迷惑をお掛けいたしました。ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

最後になりますが、暑い日も寒い日も当院災害復旧工事のために多くの工事業者の皆さまにご対応いただき、全体復旧工事を行っていただきましたことを深く感謝いたします。

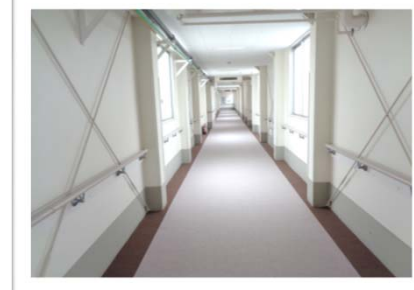
(企画課長 大坂 雄二)



中央病棟（修繕後）



内科外来前（修繕後）



南病棟への渡り廊下（修繕後）



外来棟耐震補強工事の様子



救急外来入口



エレベーターホール（修繕後）

寄附金について

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、多くの個人・企業の皆さまからご寄附を賜り、この場をお借りし心より感謝申し上げます。

独立行政法人国立病院機構宮城病院では、一昨年2月及び昨年3月に発生した福島県沖地震の災害復旧に係る費用のほか、患者様に高度で安全な医療を提供するためなど、有効に活用させていただきます。

当院の運営のために、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(経理係 齋藤 星河)

※公開のご了承をいただいた方のみ、ご芳名を掲載しております。

(令和4年11月以降ご寄附等受領分)

受領日	氏名	内容
令和4年11月19日	亀井 めぐみ 様	寄附金

「第2回 秋のみやベリー展」開催



金賞
honey
「forest fairy」



銀賞
レオ
「ミシンキルト」



銅賞
K&K
「生け花」

令和4年11月15日～30日にかけて、南病棟ホールにて文化祭「第2回秋のみやベリー展」が開催されました。長々続くコロナ禍の中、職員間でも交流を深め、職務へのモチベーション向上、サービス向上へつなげることをコンセプトとして、昨年に引き続き開催しました。病院に勤務する方全員へ参加を募ったところ、昨年の作品数を超える様々な職種から30点以上の力作の応募があり、全勤務者からの投票数で受賞が決定しました。皆さんの様々な特技・趣味を知ることができ、とても盛大な文化祭となりました。

(庶務係長 小原 有里)

出展作品 ～敢闘賞～



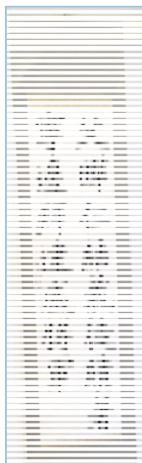
こんぺいとう
「レジン 癒やしの空間」



神 未来
「マジンカイザー」



みやベリー展のBGM
「ピアノ演奏」



齋藤 星河
「書」



幸猫
「まなざし～明日を見据えて」



鈴木 寿美子
「文化刺繍 猫」

出展作品



ゆんすけ
「マジックショー」



RCS
「100円持ってわにわにしよう!!」



カメラ大好きNs.M
「夜桜の中村神社」



レオ
「小物 (バッグ)」



カメラ大好きNs.M
「白鳥」



齊藤秀行
「タなぎ」



ごまパン
「かがり火の導く先へ」



Box
「ハコ×2」



S
「俳句付絵画」



田代恵子
「転勤先で出会った
すてきなお山」



オタク看護師K
「推しになりたい
コスプレ」



佐藤亜樹
「おりがみリース 小物など」



山上遊
「廃材で作った木製ルアー」



玉田敏郎
「リサイクル作品
リヤカー・机・植木鉢」



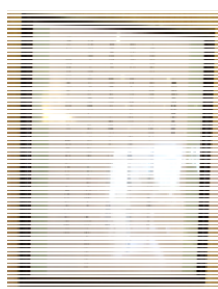
クレヨンまさちゃん
「クレヨン画」



S
「林の恵み」



掛水智子
「四季彩」



八巻早雲
「無記名詠草五首・
再興の礎」



ふくふく
「秋」



お花大好きさん
つるバラ「ル・ポール・
ロマンティーク」



鈴木恵美
「書 光るもの」



あ〜秋まつり
「地味にチクチク手縫い小物」

編み物大好き
「夏のマルシェ」



つくし保育園防災訓練

令和4年12月15日、院内保育所のつくし保育園で不審者対応の訓練が行われました。

園庭で遊んでいる子供たちのところに不審者が近づき、保育士が園児たちを安全に園舎内へ避難させる訓練です。

サングラスをして不審者に扮した職員が園庭の周りをフェンス越しにぐるぐる回りながら、園児に声をかけますが、園児と一緒にいた保育士は園児を怖がらせないように上手く誘導して園舎内に避難させます。一方で園長は不審者出現を管理課に通報、病院職員が駆け付けるまでの間、不審者を園内に立ち入らせないように冷静に対処しました。

ほどなく、さすまたを携えた病院職員が到着し、不審者対応訓練は終了しました。訓練開始前、見学のために一足先に到着した事務部長が不審者役と間違えられ、園児が避難してしまうというハプニングはありましたが、年1回実施される訓練を通じて、不審者出現時の対応を確認する大切な訓練でした。



(管理課長 増田 和美)



年男・年女大集合 ～新年の抱負～



最近思ったことの一つに“ファッション感覚”があります。自分の親を見て年を経れば年相応のものになっていくと思っていましたが、実際は変わらないことに気がつきました。体力とともに若くありたいものです。

(事務部長 若佐 孝男)

うさぎ年生まれという事もありまして、次の12年も、仕事面ではうさぎの耳のように、患者様のどんな声にも耳をかたむけ、寄り添える療法士になりたいと思います。私生活では健康に気を付けて、笑顔を忘れず、ストレスフリーに毎日元気に過ごしたいと思います。



(作業療法士 山上 遊)



卯年は飛躍と向上の年と言われています。患者様が安全・安楽に生活を送ることができるように、看護師として自身の知識向上に努めていきたいです。

(看護師 渋谷 香織)

今年の抱負は経管栄養の患者さんへの口腔ケアの徹底です。卯年ならではの身軽さで患者さんの声に耳を傾け、お1人お1人お体の状態に対応しながら、ご負担にならぬよう心がけ報告に努めます。



(歯科衛生士 岩佐 有美子)



あけましておめでとうございます。昨年は仕事を覚えることに夢中で細かいことに気が回らないことが多々あったので、今年は時間配分や効率などを考えて意欲的に働きたいと思えます。本年もよろしくお願いいたします。

(算定・病歴係 熊澤 百花)

今年は、3年目になりプリセプターなどの役割が始まると思いますが、私の先輩方や新人の時のプリセプターを目標に元気に頑張っていきたいです。プライベートでは、体力づくりを頑張りたいのでスポーツにたくさん触れる1年にしていきたいです。



(看護師 伊藤 瀬夏)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	中屋 亮彦	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3)
	再来	永野 功	高井 良樹	永野 功	中屋 亮彦	中屋 亮彦
		渡辺 靖章		松本 有史	金子 仁彦 (第2・4)	
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行				菊地 章子
循環器内科	午前			加藤 浩	東北大学病院から	
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科			佐野 寛仁			齋藤 悠
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後		(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				舘 一史		澤村 武 齋藤 香奈 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科	午前				東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				東北大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)	
	入れ歯外来				白石 成	重光 竜二

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、**急患の方は随時受付いたします。**
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

- 自動車でおいでの方●
 - 仙台方面から■
仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。
 - 相馬方面から■
国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。
- 交通機関をご利用の方●
 - 仙台方面から■
JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

